

個人投資家向け会社説明会

2022年1月7日



ダイワボウホールディングス株式会社

+
(証券コード：3107)

1. 会社紹介
2. 当社事業の強みと戦略
3. ESGへの取り組み
4. 株主還元



ダイワボウホールディングス株式会社

本社所在地 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町3丁目6番8号

設立日 大和紡績として創立 1941年4月1日
ダイワボウホールディングス設立 2009年7月1日

連結従業員数 5,683名（2021年3月末現在）

資本金 216億9,674万4,900円

株式 東証1部上場 証券コード **3107** / 業種：**卸売業**



代表取締役社長
西村 幸浩

〈JPX日経インデックス400構成銘柄〉

ITインフラ流通事業

[中核会社]

 **DIS** ダイワボウ情報システム株式会社

PC・周辺機器・ソフトウェア販売、物流サービス業
コンピュータ機器等の導入・保守・修理サービス業

繊維事業

[中核会社]

 **大和紡績株式会社**

化合繊維、不織布製品、産業資材関連製品、
衣料・リビング用テキスタイル・最終製品の製造販売業

産業機械事業

[中核会社]

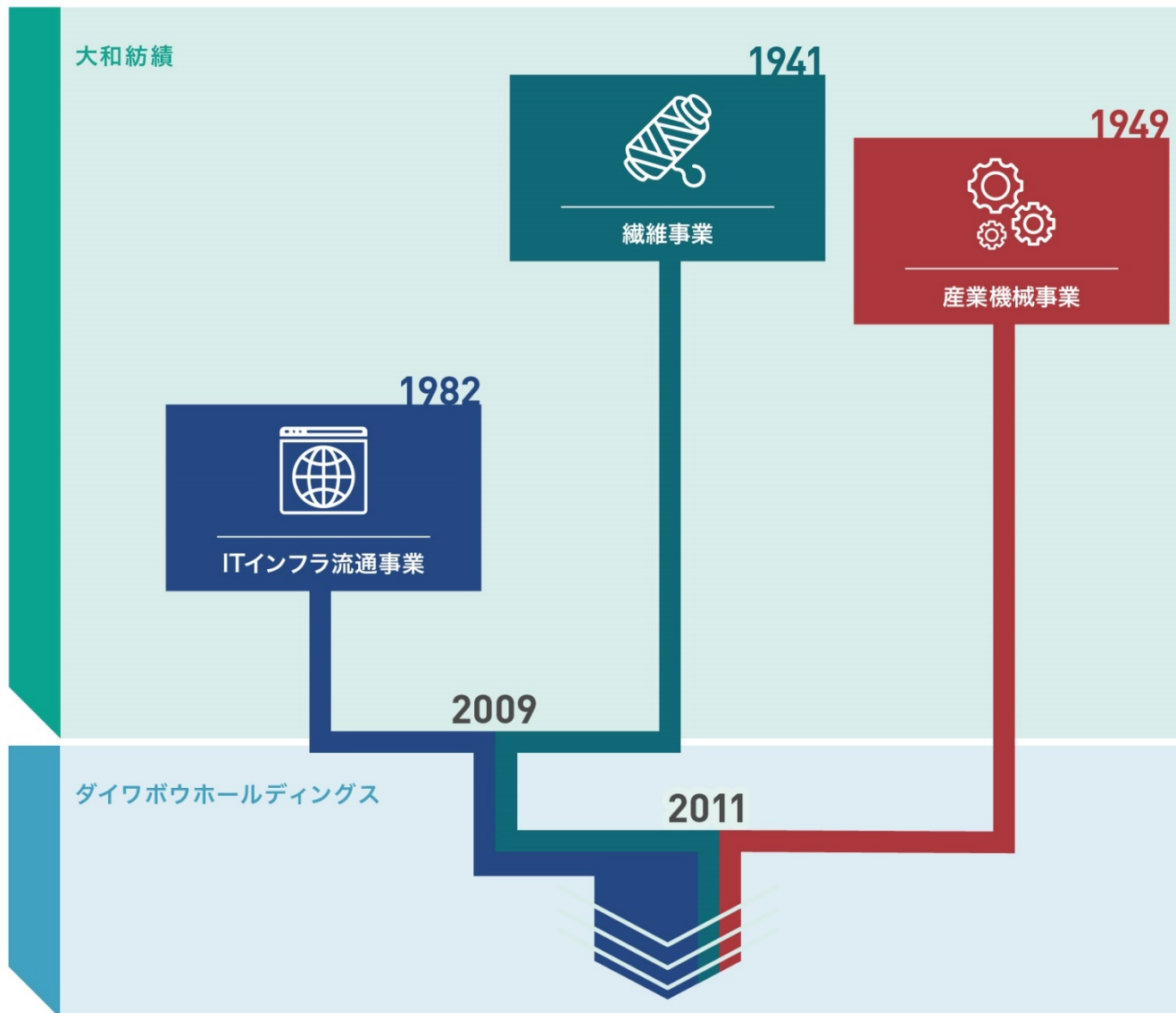
 **株式会社 オーエム製作所**

工作機械、自動機械および鋳物製品の製造販売業

その他事業

保険代理店業、エンジニアリング業

グループの沿革

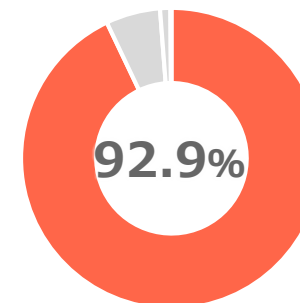


- 1941. 4 錦華紡績、日出紡織、出雲製織および和歌山紡織の4社が合併し、**大和紡績**として発足
- 1949. 5 大和紡績が東証1部上場
- 1949. 7 大和紡績が宍道工場を分離し、大和機械工業（現**オーエム製作所**）を設立
→その後、工作機械・紡績機の製造を手掛けていた大阪機械製作所と1960年に合併しオーエム製作所が誕生
- 1971.11 オーエム製作所が東証1部上場
- 1982. 4 大和紡績が新規展開の一環として、情報関連事業へ進出するために**ダイワボウ情報システム**を設立
- 2000. 9 ダイワボウ情報システムが東証1部上場
- 2009. 3 大和紡績とダイワボウ情報システムが経営統合
- 2009. 7 大和紡績が**ダイワボウホールディングス**へ商号変更
繊維事業の中核会社として新たに**大和紡績**を設立
- 2011. 7 ダイワボウホールディングスがオーエム製作所と経営統合 ⇒**現在の3事業体制へ**

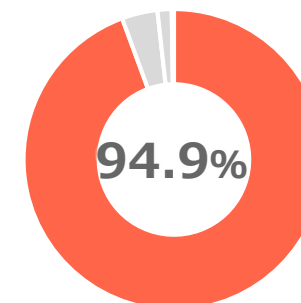
ITインフラ 流通事業

IT関連商品を取り扱う国内最大級のディストリビューター
全国93拠点での地域密着営業によるパートナー企業との協業体制が強み
特定のメーカーに特化しない独立系マルチベンダーで、PCをはじめとした
世界中のメーカー約1,300社の商品・サービスを販売

売上高比率



営業利益比率



繊維事業

合繊・レーヨン部門

紙おむつ等の衛生材料用途の合繊綿、生分解性の高い
レーヨンなどの繊維素材・製品を展開

産業資材部門

工業資材、フィルター製品、土木資材・重布製品、
ゴム製品などの産業領域の繊維製品を展開

衣料製品部門

各種繊維原料および機能性インナーなど製品の開発と
製造販売、ライセンスブランド衣料品の製造販売

5.8%

3.9%

産業機械 事業

工作機械部門

航空宇宙分野などの重工業を中心に活用される工作
機械「立旋盤」の国内製造で高いシェア

自動機械部門

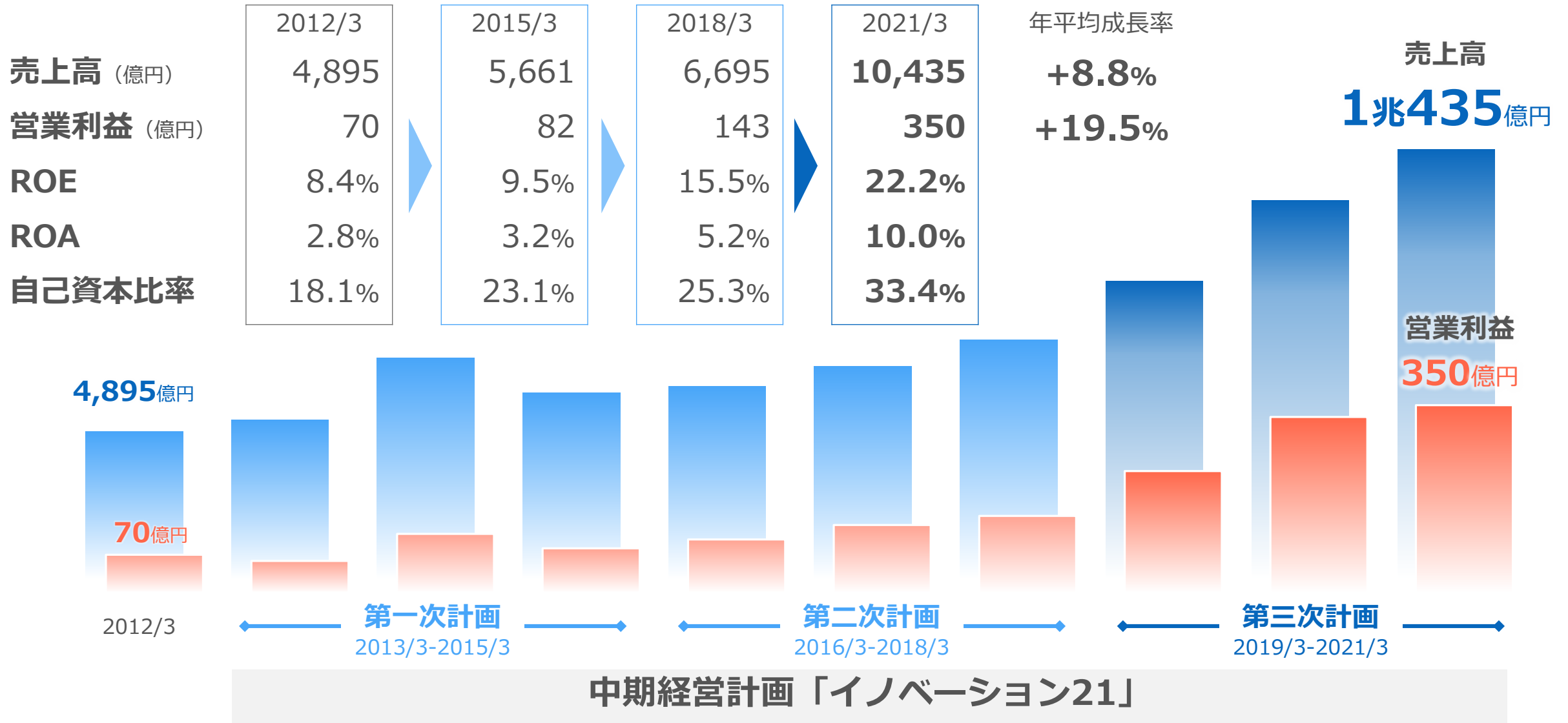
食品・医療品など幅広い業界に対して包装・梱包の
自動機械を製作納入

1.1%

1.5%

(2021年3月期実績)

業績推移



| 当社事業の強みと戦略

ITインフラ流通事業

【中核事業会社】

DIS ダイワボウ情報システム株式会社

繊維事業

産業機械事業

主要事業会社

ディストリビューション

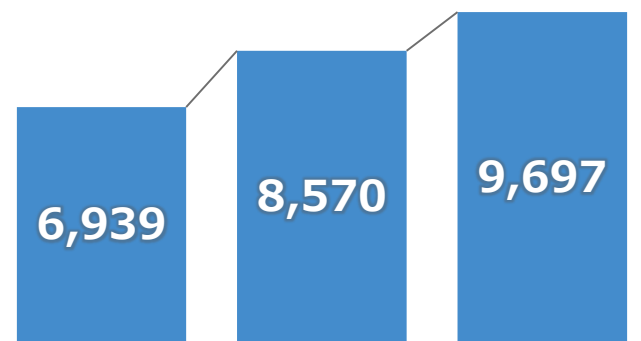
DIS ダイワボウ情報システム株式会社

サービス&ソリューション

DIS ディーアイエスサービス&ソリューション株式会社

セグメント業績推移

売上高

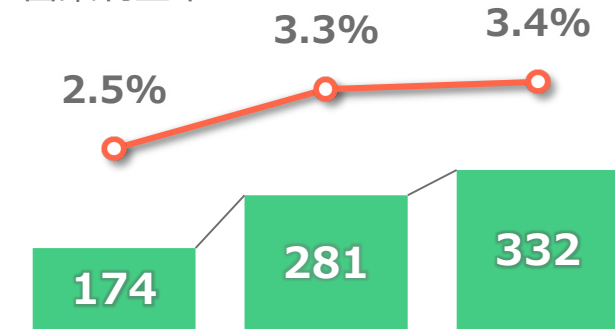


2019/3

2020/3

2021/3

営業利益
営業利益率



2019/3

2020/3

2021/3

ダイワボウ情報システム（DIS）の歩み

1982 DIS創業

- 大和紡績が、PC活用による生産現場のモニタリングシステムを自社開発したノウハウを生かして、わずか10名でスタート
- システム開発・販売ではなく、PCをはじめとした情報機器の販売にシフト

1983-1984 多店舗展開

- 大和紡績の工場があった佐賀・出雲・金沢に支店を開設し、いずれも早期に黒字化したことで多店舗展開を加速

1998 DIS-NET稼働

- 販売管理システム「DIS-NET」を本格稼働し、創業以来の伝統である即納体制をさらに強化

2000 iDATEN(韋駄天)稼働

- BtoB販売支援Webサイトで24時間365日注文受付可能に

1996/3
1,000億円突破

1999/3
2,000億円突破

2003/3
3,000億円突破

2000
DIS東証1部上場

2012/3
4,000億円突破

2014/3
5,000億円突破

2009
経営統合

- HD体制の「ITインフラ流通事業」として位置づけ

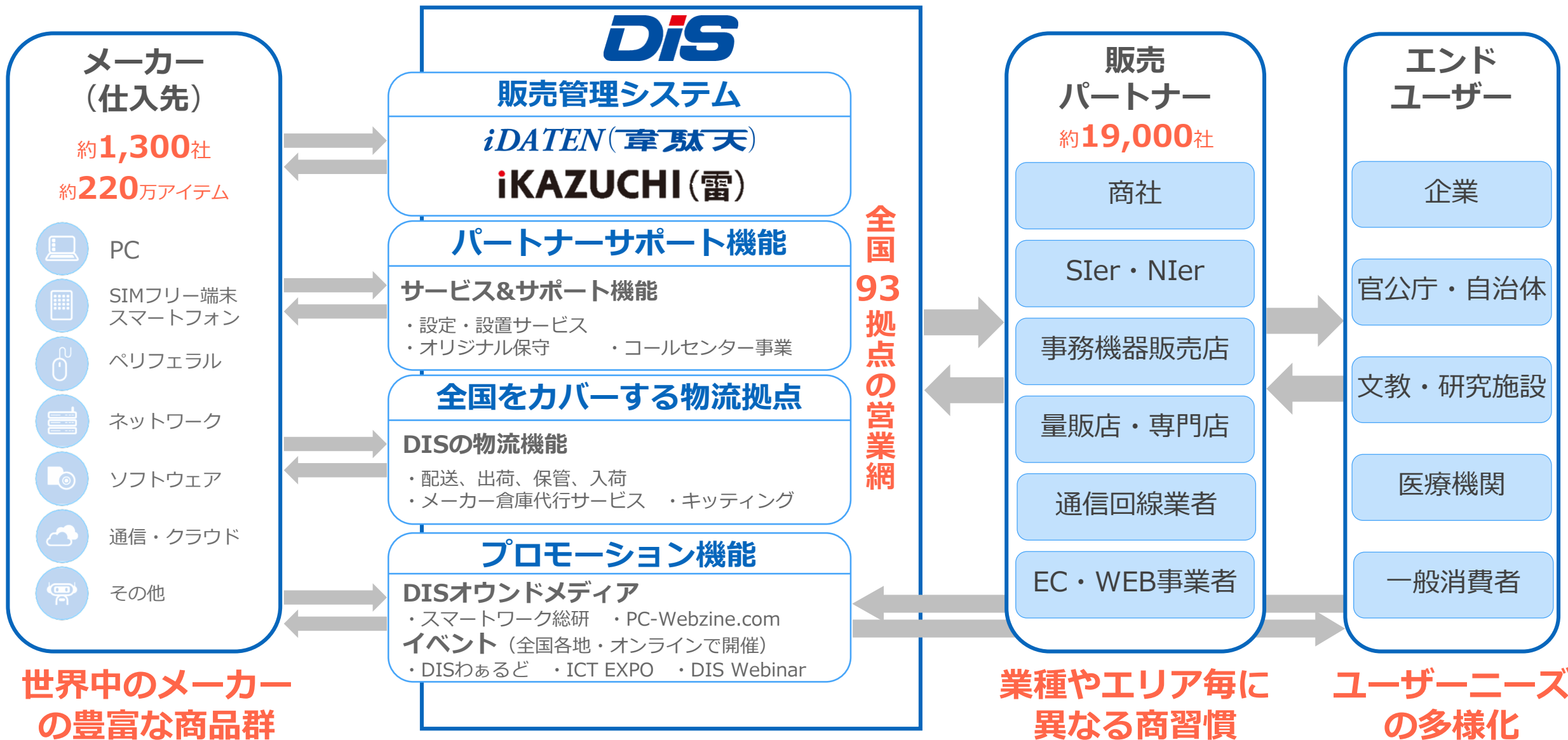
DIS単体
売上高推移

2019/3
6,000億円突破

2020/3
8,000億円突破

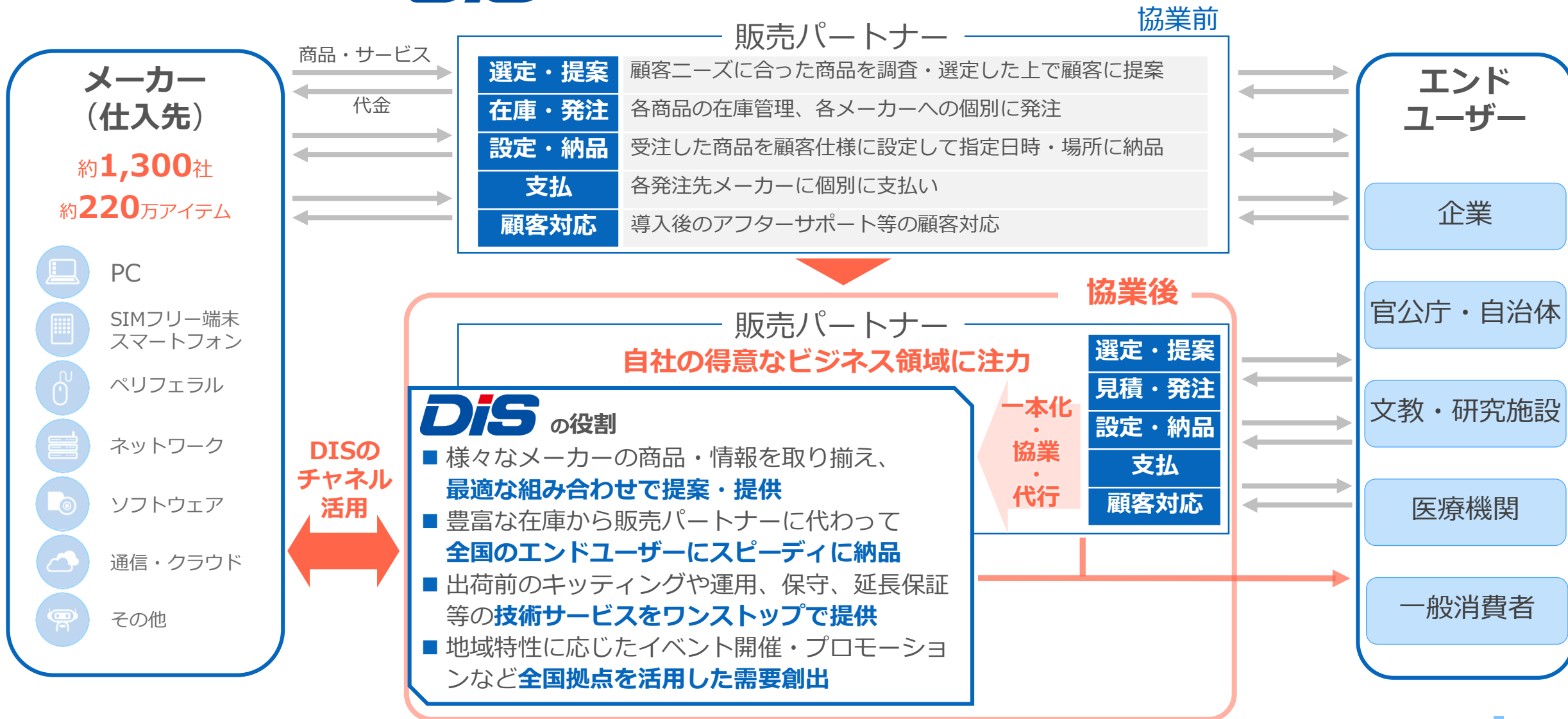
2021/3
9,000億円突破

ITインフラ流通事業の事業構造



ディストリビューターの付加価値

販売パートナー × DIS

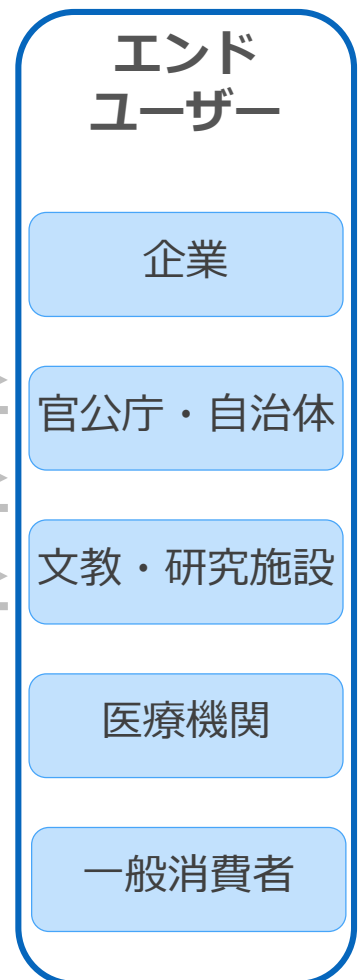
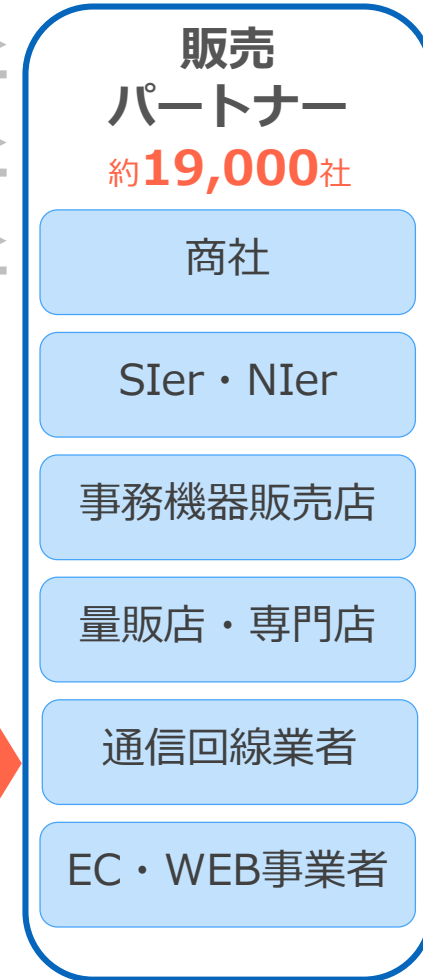
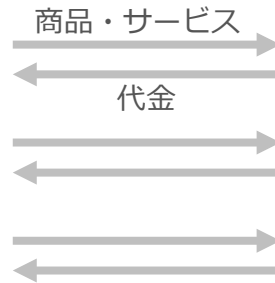


ディストリビューターの付加価値

メーカー（仕入先） × DIS

協業前

メーカー（仕入先）	
商品開発	市場分析により顧客ニーズを捉えて商品・サービスを開発
営業・販促	個別の販売先への営業活動、商品・サービスの販促活動
受注・生産	各販売先への受注対応、需要動向を踏まえた生産
在庫・出荷	商品の在庫管理、各販売先への発送
請求・回収	各販売先への請求および債権回収



協業後

メーカー（仕入先）	
商品開発	DISを窓口 to 販路拡大・販売業務効率化
営業・販促	
受注・生産	
在庫・出荷	
請求・回収	

一本化・協業・代行

DIS の役割

- 長年培ったサプライチェーンマネジメントにより **全国の需要量・ニーズを連携し、メーカーの生産計画やプロモーションに反映**
- 物流センターをメーカーの倉庫機能として活用することで、**メーカーの時間・コスト節約に加えて、キittingや他社製品と組み合わせた出荷を実現**
- 海外から日本市場に新規参入するメーカーと協業し **国内を網羅した販売網・配送網を提供**



物流センター効率化

関西センター（神戸市）



2020年5月本格稼働

倉庫面積：36,342㎡

関東中央センター（埼玉県吉見町）



2016年6月本格稼働

倉庫面積：44,753㎡

ロボットストレージシステム

→作業効率・スペース最適化

【ロボット稼働台数】

関東中央：45台、関西：30台

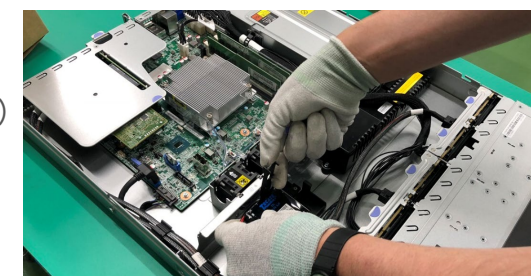
キittingセンター併設

→入荷>作業>出荷に迅速対応

PC・タブレット
キitting実績：年間87万台（2021/3期）

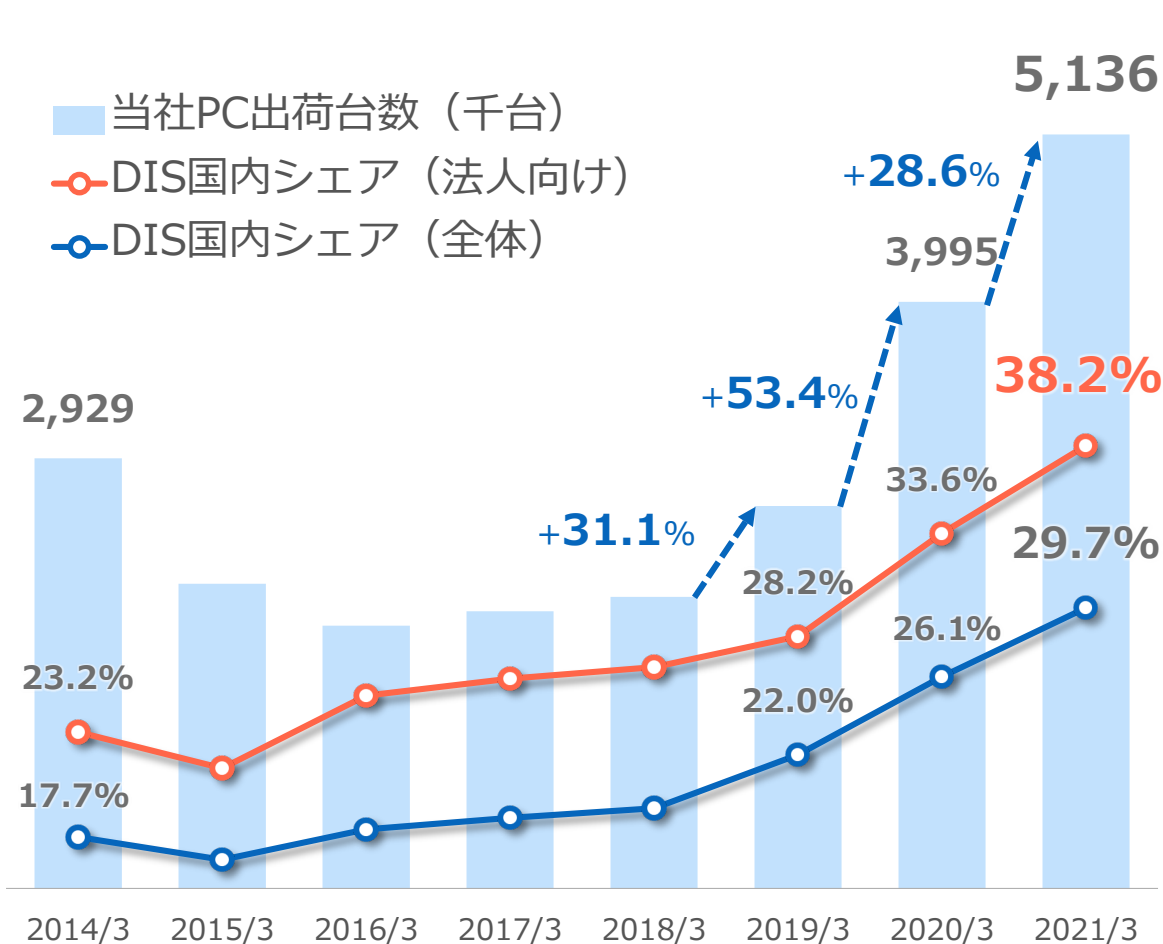
トラック予約受付システム

→入出荷情報の共有・車両平準化



東西メガセンターを中心に
効率化・生産性向上に注力

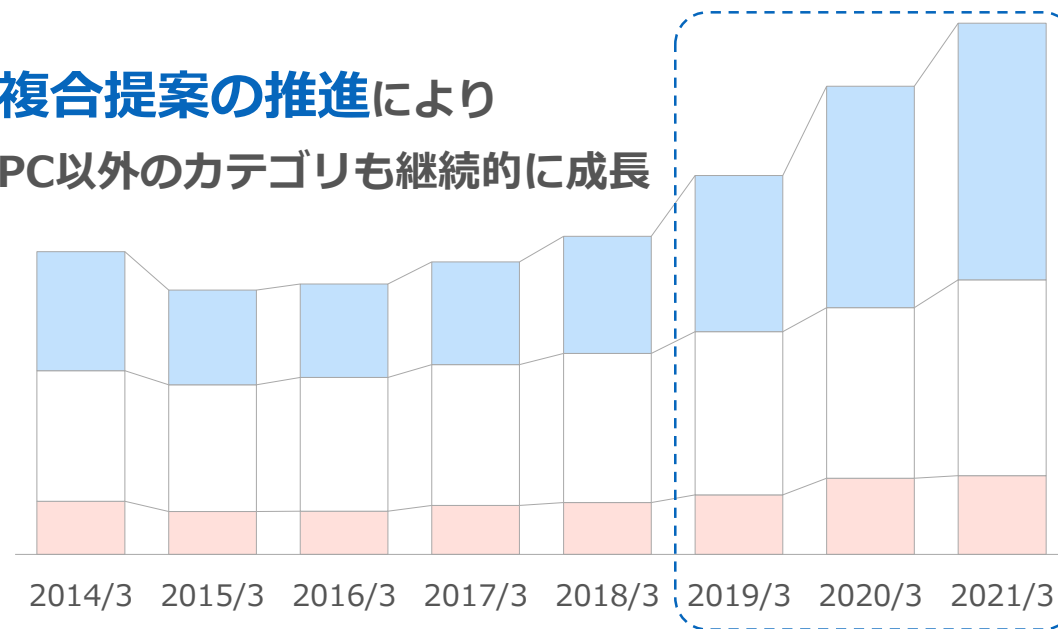
法人利用のPC **3台に1台以上**は当社が関与



<DISカテゴリ別売上高推移>

	3カ年平均	
	構成比	成長率
PC本体*	46.0%	+29.8%
ソフトウェア	15.6%	+14.9%
周辺機器・サービス等	38.4%	+9.5%

複合提案の推進により PC以外のカテゴリも継続的に成長



※MM総研調査結果より算出

*PC本体 = PC、サーバー、タブレット、スマートフォン等の端末本体

ITデバイス流通におけるカテゴリごとのシェア獲得

- 情報基盤を活用した効率的な提案と支援体制の構築
- エリアごとのパートナーシップによる競争優位性の追求
- 教育分野におけるICT化の提案と支援を幅広く実施

高度サポート機能の実装・強化

- NW強靱化などの多様なニーズに対応する技術力・提案力の実装
- 最高品質エンジニア集団育成による新たなビジネス原動力創出

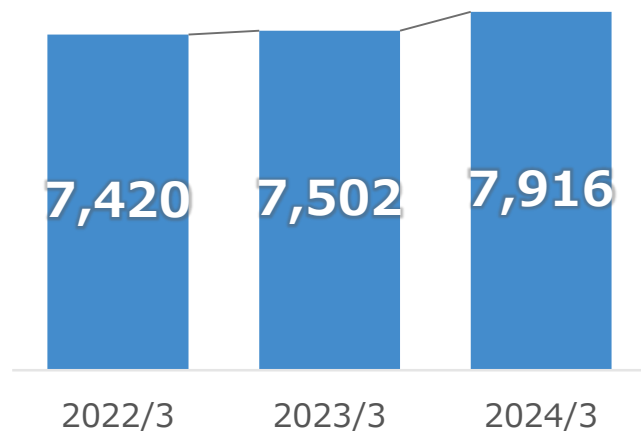
クラウドディストリビューターとしてのブランディング

- iKAZUCHI(雷)の機能拡充とユーザー層拡大
- SaaS市場シェア拡大とメガクラウド提案による基盤ビジネス獲得

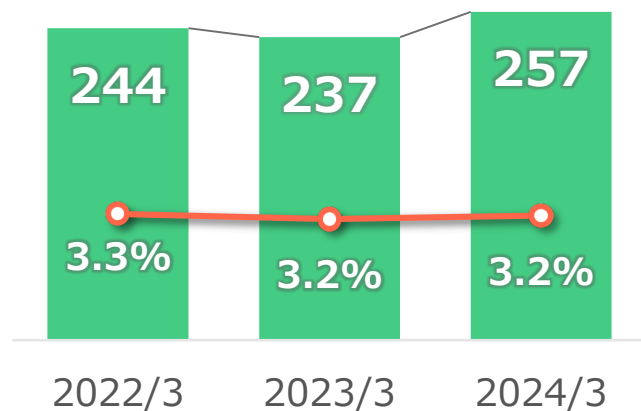
サプライチェーン全体につながる生産性向上

- RPA・BIツールを活用した営業活動強化・効率化の実現
- MAによる見込み顧客の選定および戦術化支援による売上拡大
- ローコストオペレーションの継続的な追求

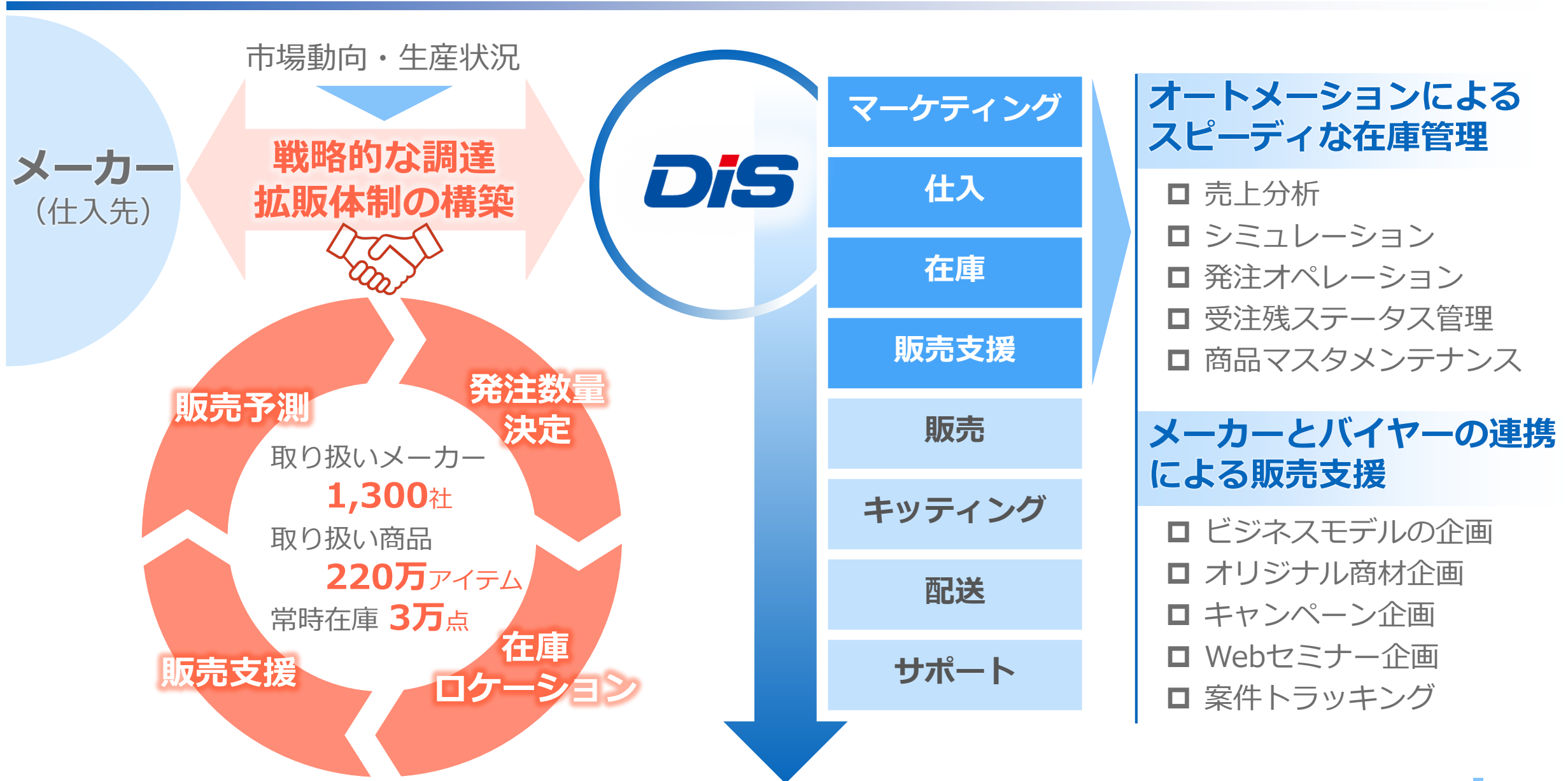
セグメント別計画



■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 営業利益率



メーカー（仕入先）との連携体制





文教ビジネスにおけるDISの強み

地域密着の営業体制

- 全国各地の文教販売パートナーとの協業体制
- 新製品・サービス等を検証し、いち早く情報提供

全国の教育市場をカバー

独立系マルチベンダー

- 特定のメーカー・OSに偏重しない調達力と豊富な在庫
- 周辺機器・ソフトウェア等を組み合わせた複合提案

ユーザーに最適な提案

ワンストップサービス

- キットティング
- 設置・設定
- 延長保証
- 修理
- データリカバリ
- 教員向け研修

導入から運用まで支援

協業メーカーおよび文教販売パートナーとの連携

文教専門チームによるICT活用事例・ノウハウの蓄積

「GIGAスクール構想」

におけるDIS販売実績
(2021年3月期)

売上高 **2,000** 億円以上

自治体等数 約 **1,400** 自治体等



長期的に発展していく
教育ICT分野に幅広く貢献する

- > 高校以降の1人1台端末の推進
- > デジタル教科書・授業支援ソフト
- > 教員研修・遠隔授業サポート
- > 端末に関連する継続需要
(機器更新・保守・保証・設定作業等)

iKAZUCHI(雷)によるサブスクリプション拡大

iKAZUCHI(雷)掲載サービス

76ベンダー / 163サービス

(2021年9月現在)



コラボレーション	業務基盤・システム基盤
セキュリティ・管理	デザイン・クリエイティブ
ヒューマン・リソース	営業・マーケティング



申込

プロビジョニング



販売パートナー向けサブスクリプション管理ポータル

月額/年額/従量などの課金形態に対応

顧客単位でリアルタイム管理

複数サービスを一括管理

エンドユーザー向けの情報提供

マルチクラウド対応の有資格の専任部隊が

全国の販売パートナーのサブスクビジネスを支援



iKAZUCHI(雷)取扱高

2024/3までの

3年間で**2.5倍以上**の成長を目指す



販売パートナー

エンドユーザー

販売

販売

登録

申込

自動更新

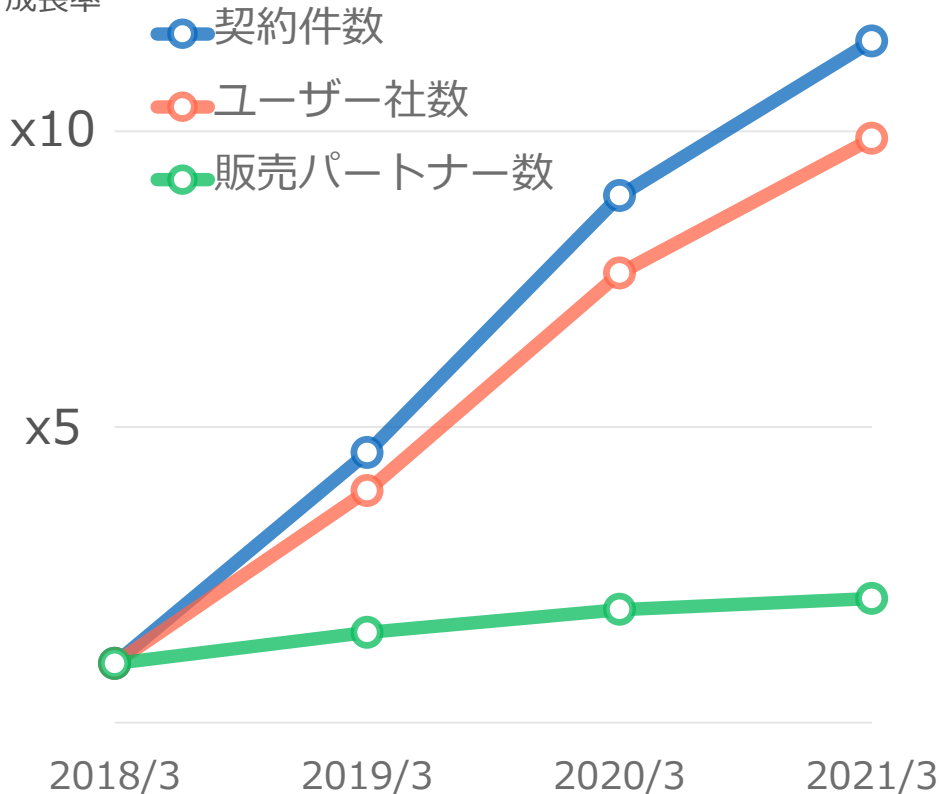
◆サブスク販売の工数削減
◆安定収益確保

◆複数サービスをワンストップで契約可能

代金回収代行

iKAZUCHI(雷)によるサブスクリプション拡大

2018/3対比
成長率



対応ベンダー数

13社 → 24社 → 38社 → 65社



「マルチベンダー」の強みを生かして
単独ベンダーではできない付加価値を創出

商材

サービスレベルでの親和性を高め
複数サービスを組み合わせる提案

コーディネート

日本全国をカバーする
販売パートナーとのコミュニティ

管理

複数のサービス契約を一元的に
管理する機能のさらなる強化

あらゆるITビジネスを支え続ける企業として

エンドユーザー	DX	ニューノーマル	サブスクリプション
販売パートナー			
メーカー	サステナビリティ	VUCA	

ニーズの変化

ディストリビューター
としての機能強化

販売パートナー・メーカーの
戦略を加速させる提案

技術の広がり

ソリューション力の強化
サービス・サポートの構築

エリアカバー

地域ごとの課題対応
ユーザー情報の集約



パートナービジネスによって「強み」を掛け合わせることで「新たな価値」を創造

【顧客ニーズの多様化】と【テクノロジーの多様化】を効率的にマッチングして全国に展開

ITインフラ流通事業

繊維事業

【中核事業会社】

 大和紡績株式会社

産業機械事業

主要事業会社

合織・レーヨン

タイフボウレーヨン株式会社

産業資材

 大和紡績株式会社

KANBO PRAS カンボウプラス株式会社

衣料製品

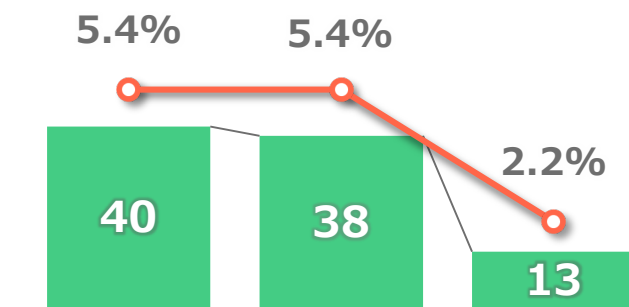
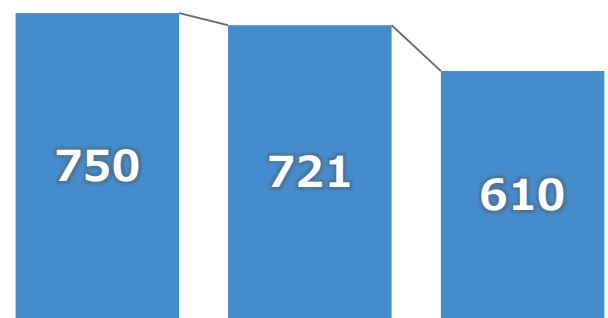
 ダイワボウアドバンス株式会社

セグメント業績推移

売上高

営業利益
営業利益率

(億円)





ファイバー・原糸・不織布・最終製品などの豊富なラインナップで提供

製販一貫体制

繊維素材の研究開発や不織布の加工など、開発・製造・販売の一貫した体制を構築し細かいニーズに対応

原料から最終製品まで

国内外から調達する原料を高い技術力によって加工することで多岐にわたるラインナップで製造販売

独自のファイバー戦略

独自の原料や加工技術で生活資材や産業資材などの多種多様な分野に活用する「ファイバー戦略」を推進

合織・レーヨン



- 紙おむつや生理用品などの衛生材用に使用される合成繊維
- 乳幼児用おしり拭きや除菌シート、フェイスマスクなどの生活資材に使用される不織布
- アスベスト代替として使用され、モルタルのひび割れを自己治癒することのできる繊維
- 木材パルプから生産される生分解性の高いレーヨンを加工した不織布製品・衣料製品

産業資材



- 化学・電子・食品業界などで活用される不純物をろ過するフィルター
- トラック幌やテント倉庫に使用される重布、防水シートや緑化ネットなどの土木資材
- 自動車部品・家電など多様な用途の高品質ゴムスポンジ製品
- 建設現場の防音シートや養生メッシュなどの各種産業用シート

衣料製品



- 機能性インナー、快適アウターなどの衣料製品
- リビング用素材および製品
- ライセンスブランド衣料品
「FILA」 「T&C」 「Prince」 「NCAA」

(億円)

ESGを軸にした働き甲斐のある会社への変革

- コンプライアンス推進・内部統制強化による不正再発防止
- CO₂排出量削減および定期的な環境監査の実施
- 生分解性・バイオマス・リサイクル等の環境配慮型の製品展開
- 労働環境改善・人材教育・IT活用による業務効率化

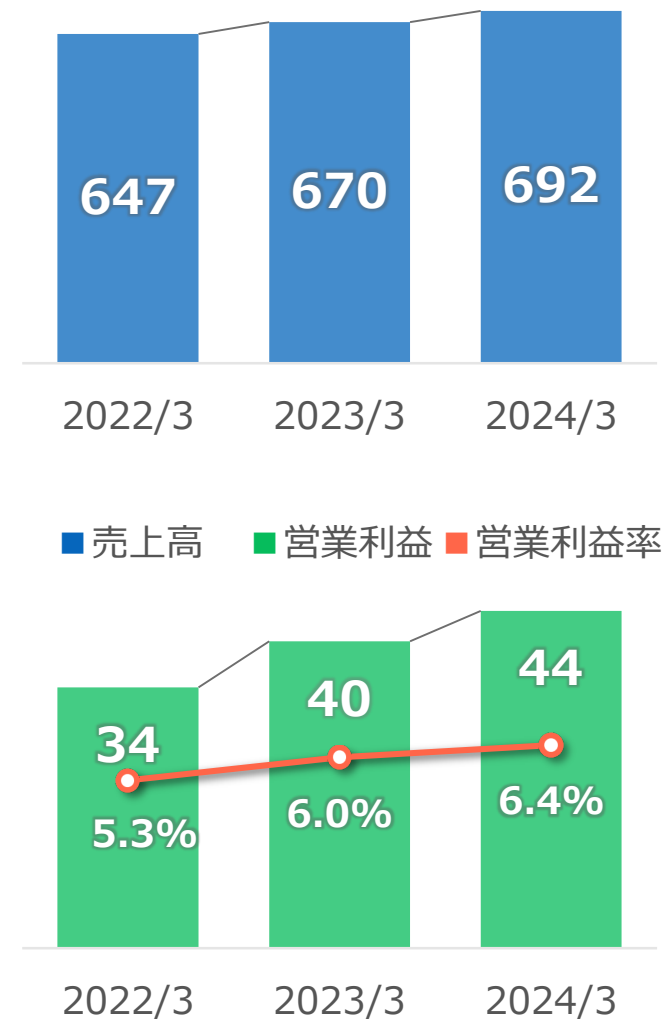
ファイバー戦略の深耕による独自素材の開発強化

- 技術・開発本部新設による横断的な研究開発体制
- 機能素材・サステナブル素材を生かした販売拡大
- 素材と後加工技術のグループ水平展開
- 産学官連携による研究開発領域の拡大

投下資金効率を意識した事業活動

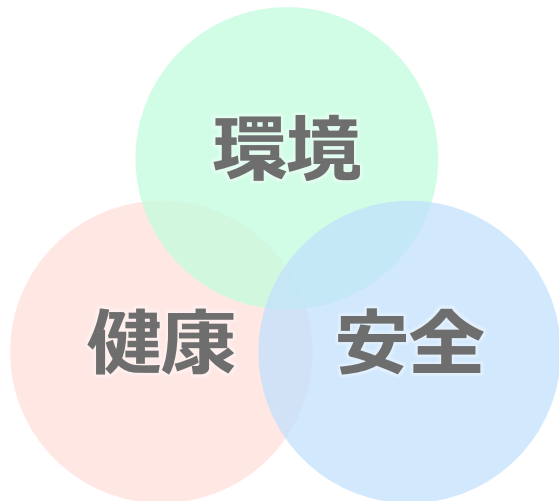
- 研究開発を活用した合繊原綿の販売拡大
- 産業資材増販に向けた出雲工場の生産拠点集約
- 長期在庫の削減および適正管理による在庫回転月数の圧縮
- 製品ビジネスにおける事業再編等による再強化

セグメント別計画



ファイバー戦略の深耕による独自素材の開発

<開発キーワード>



- ◆ 環境対応素材、生分解性素材を活かした用途展開
- ◆ 環境保全（空気・水の浄化、省エネ）に配慮した素材・製品の開発
- ◆ 健康・衛生的、安全に過ごせる快適な素材・製品の開発

<開発・用途展開イメージ例>

技術・開発本部新設による
横断的な研究開発体制
(2021年9月 播磨研究所に集約)

産学官連携による
研究開発領域の拡大

大和紡績
素材開発

衛生用品

肌に優しい素材、吸収体

家庭用品

抗菌・抗ウイルス加工

省エネ・CO2削減

電材、植物育成培地

産業資材

防災・難燃、汚染物質吸着

衣料品

リサイクル樹脂、生分解

ITインフラ流通事業

繊維事業

産業機械事業

【中核事業会社】

 株式会社 オーワーク製作所

主要事業会社

工作機械

 株式会社 オーワーク製作所

自動機械

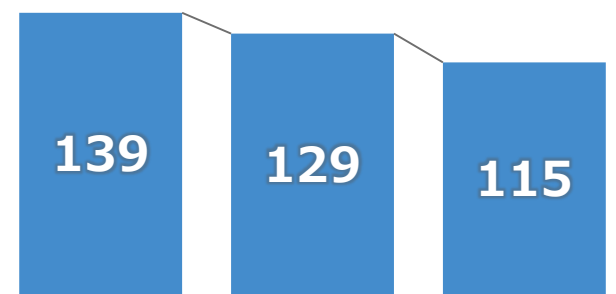
 株式会社 オーワーク機械

鑄造・加工・組立

 オーワーク金属工業株式会社

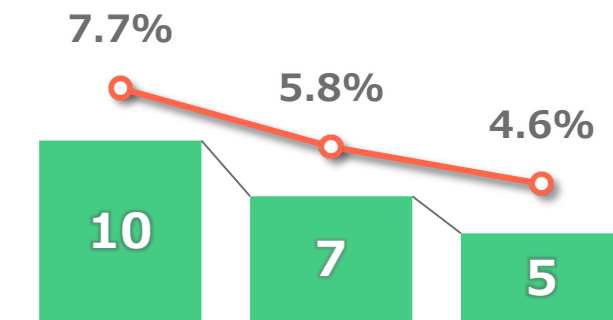
セグメント業績推移

売上高



2019/3 2020/3 2021/3

営業利益
営業利益率 (億円)



2019/3 2020/3 2021/3



幅広い産業に生産設備と技術サービスを提供

「立旋盤」
「鉄道車輪旋盤」
で高いシェア

航空機、建機などの大型部品加工を対象とする立旋盤や、鉄道車輪加工用の床下車輪旋盤で高い国内シェアを持つ

匠の技術

創立70年超の実績で培った知識・技能と顧客ニーズに対応する最新設備の導入による高剛性・高精度の機械製造

航空宇宙分野や
脱炭素関連などの
先端技術に貢献

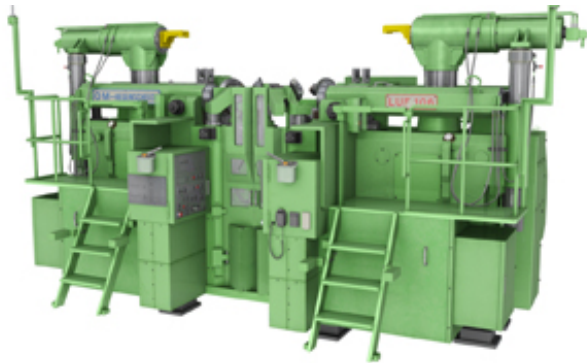
高品質が求められる航空宇宙分野で当社技術・ノウハウの信頼は厚く、風力発電・水素発電などの需要も拡大

立旋盤



- 中・大型で**国内シェアNo.1**（累計出荷台数**7,400**台超）
- 「**立旋盤のオーエム**」として国内外で高い評価を獲得
- 工作物を水平方向に回転するテーブルに取り付けて切削する機械で、テーブル径は800~6,000mmと幅広く多様な生産形態に対応し、高剛性・高精度で操作性に優れ、航空機エンジンの部品をはじめ、あらゆる分野のマザーマシンとして活躍
- 左の写真は小型汎用機「RT-915」

車輪旋盤



- 鉄道車両のメンテナンスに使われる専用工作機械で鉄道の安全と乗り心地の向上に寄与
- 床下車輪旋盤で**国内シェアNo.1**
- 世界初の車輪旋盤を製作したドイツのヘーゲンシャイト社より技術供与を受けて国産化、設計・部品・ソフトウェアはすべてオリジナル製作

自動機械



- カートナー（小箱詰機）や、個包装された商品を集積してフィルムで包む中間包装機、段ボールケーサーなど幅広い自動機械を製作（左の写真は横型連続カートナー）
- ライフサイクルが短く多様化が顕著な食品や、製造基準の厳格化が進む医薬品など、変化の激しい分野の包装工程のニーズに柔軟に対応できる技術と発想力が強み

(億円)

セグメント別計画

工作機械における潜在市場への事業拡大

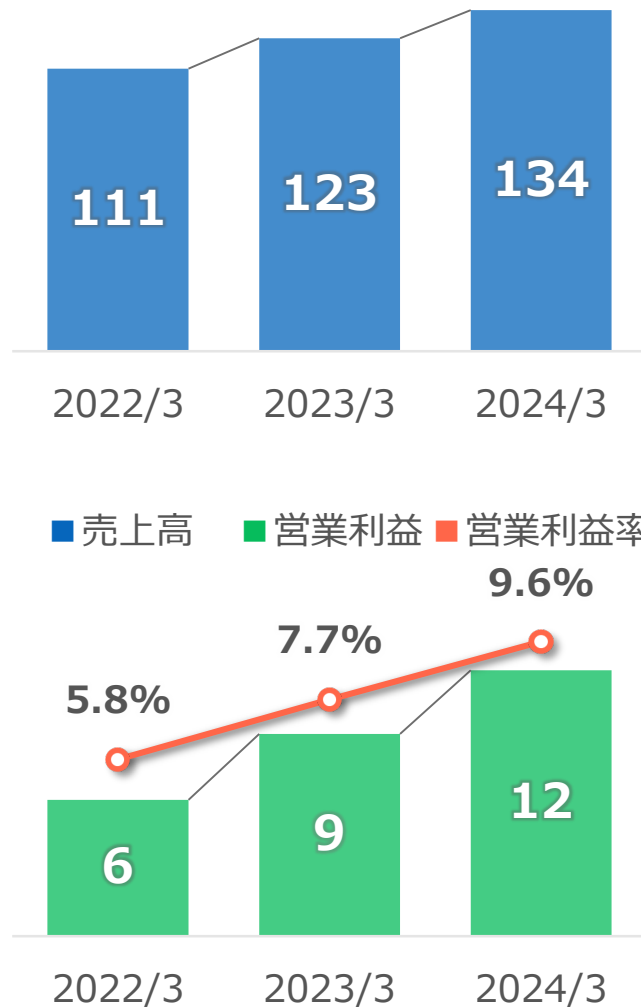
- 「脱炭素」によるエネルギー業界の変革への対応
- 5G関連の小型発電設備、洋上風力発電の需要獲得
- 鉄道専用機における国内外の需要への対応
- ユーザーの作業性向上につながる提案営業の拡充

自動機械における包装機自動化需要の取り込み

- 自動供給装置標準化による品質向上とコストダウン
- 中国薬品業界向け市場における競争力向上
- ネット通販・物流業界等の新市場への参画
- 省人化ニーズに応える新製品・新装置の開発

サービス強化による収益力向上

- サービス向上プロジェクトによるサービス体制の構築
- レトロフィット・オーバーホール提案による顧客ニーズへの対応
- サービス窓口の育成による初期対応の迅速化
- 鉄道の年次点検をはじめとしたサービス業務の拡大

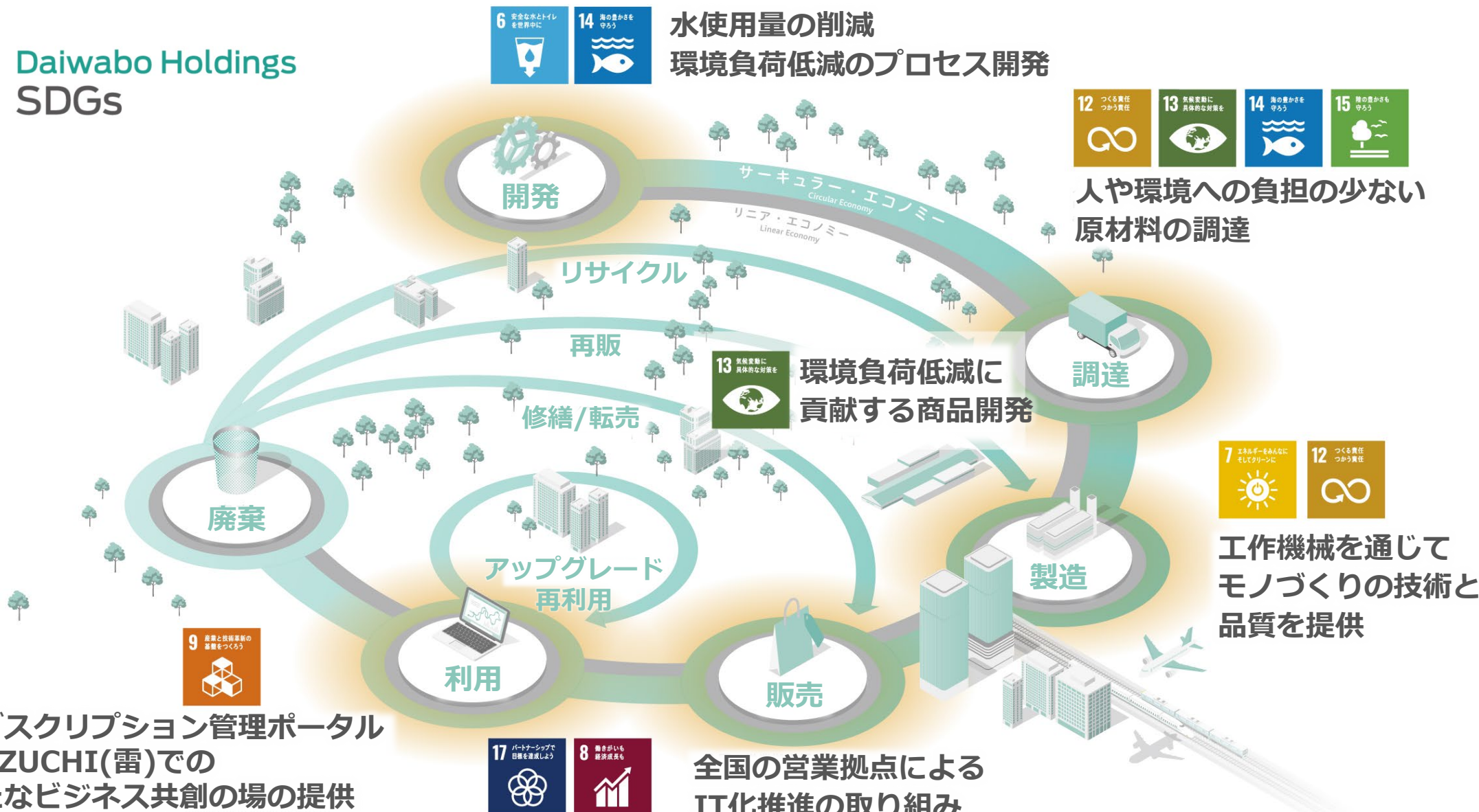


| ESGへの取り組み

事業を通じた社会課題解決への貢献機会



Daiwabo Holdings
SDGs



6 安全な水とトイレを世界中に

14 海の豊かさを守ろう

水使用量の削減
環境負荷低減のプロセス開発

12 つくる責任 つかう責任

13 気候変動に具体的な対策を

14 海の豊かさを守ろう

15 陸の豊かさも守ろう

人や環境への負担の少ない
原材料の調達

13 気候変動に具体的な対策を

環境負荷低減に
貢献する商品開発

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

12 つくる責任 つかう責任

工作機械を通じて
モノづくりの技術と
品質を提供

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

サブスクリプション管理ポータル
iKAZUCHI(雷)での
新たなビジネス共創の場の提供

17 パートナリシップで目標を達成しよう

8 働きがいも経済成長も

全国の営業拠点による
IT化推進の取り組み

それぞれの事業で培った発想力・技術力・ネットワーク力を駆使して社会課題解決に幅広く貢献

社会に役立つ

人と人、人と地球、未来へとつなげる

ビジネスに結び付ける

守りのESG

<事業リスクの低減>

- 事業活動におけるCO₂排出量の削減
- 労働安全衛生、働きやすい労働環境醸成
- 人材育成
- 安定調達の確保
- コーポレートガバナンス、リスクマネジメント 等

攻めのESG

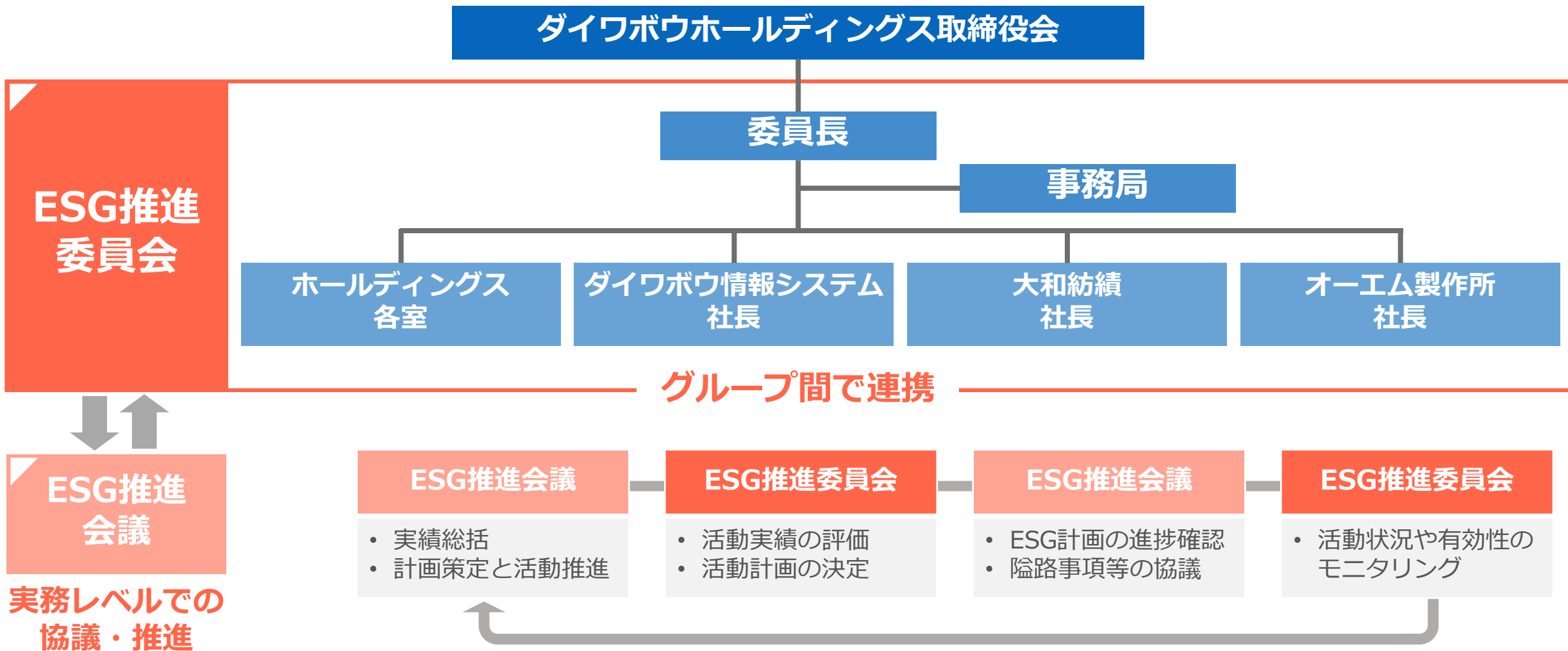
<事業機会の増大>

- 社会課題解決型の商品・サービスの提供
- 環境に配慮した商品開発
- 事業を通じた地域社会への貢献 等



当社グループにおいて重点テーマとして掲げる社会課題

グループが一丸となってESGを推進する体制を構築



上期の主な取り組み

マテリアリティ策定

Daiwabo Sustainable Action2021

5分類17項目を策定し活動項目を紐づけ

取締役会の独立性と多様性の向上

独立社外取締役比率 **57%**

女性取締役比率 **29%**

経済産業省が定める「DX認定」を取得

下期の主な取り組み予定

プライム市場選択（申請済み）

ESGデータ開示項目の拡充

環境：CO₂スコープ1、2関連 等

ESGに関する基本的な考え方の公表

人権、ダイバーシティ 等

気候変動関連情報の開示に向けた取り組み

TCFD提言に基づくシナリオ分析 等
(2022年度公表予定)

グループ連携強化

ESG推進委員会 / ESG推進会議

- 活動進捗の定期的な確認・共有
- マテリアリティの評価・見直し 等

継続的な
ESG活動

情報発信の充実

サステナビリティサイト

- ESG推進体制
- マテリアリティ策定プロセス
- ESGデータ（ガバナンス関連） 等



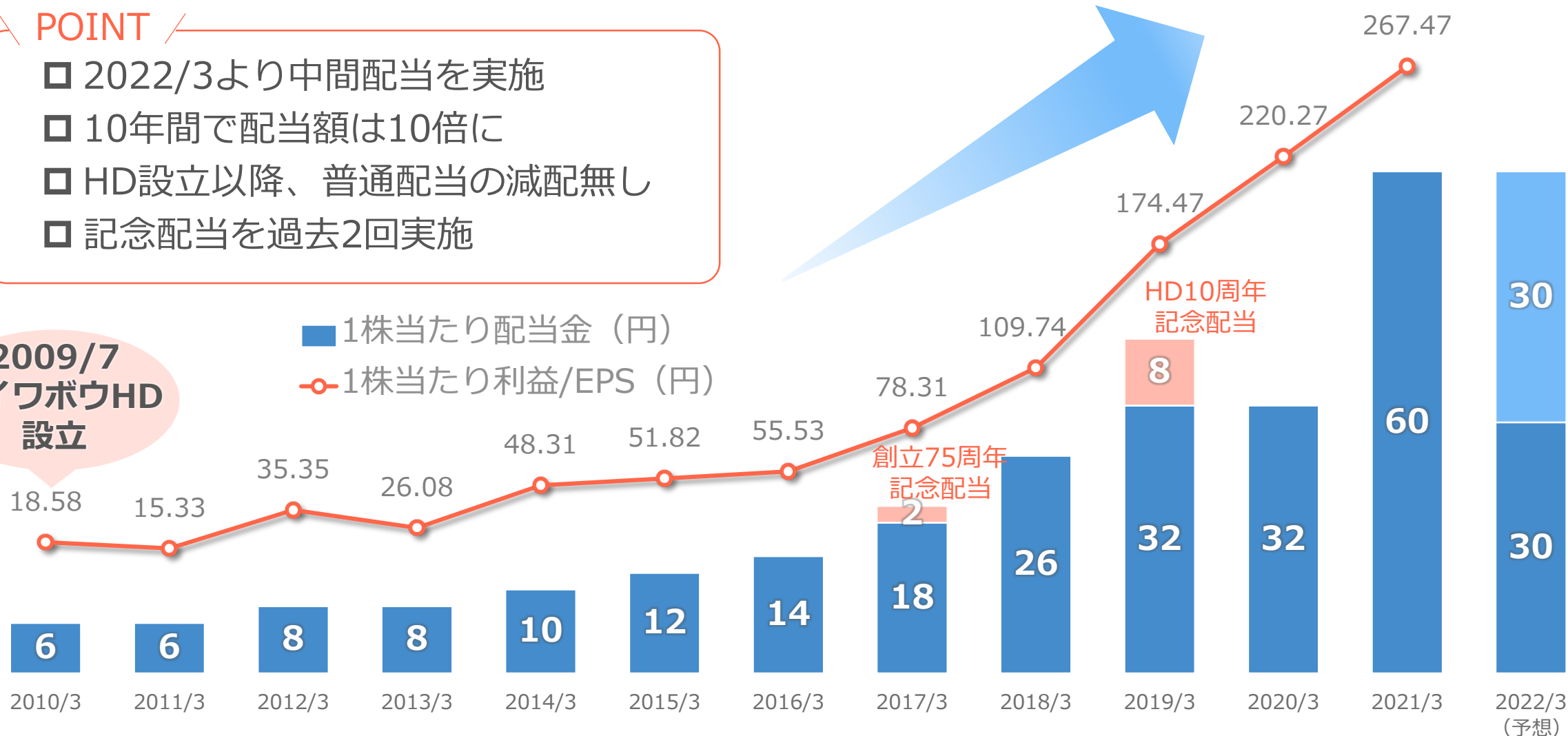
株主還元

配当推移

POINT

- 2022/3より中間配当を実施
- 10年間で配当額は10倍に
- HD設立以降、普通配当の減配無し
- 記念配当を過去2回実施

2009/7
ダイワボウHD
設立



※株式会社 (2017/10/1) ・ 株式分割 (2021/4/1) を過年度に遡及して表示

TSR

株主総利回り

442.9%

 ※5年間 (2016/3→2021/3)

PER

株価収益率

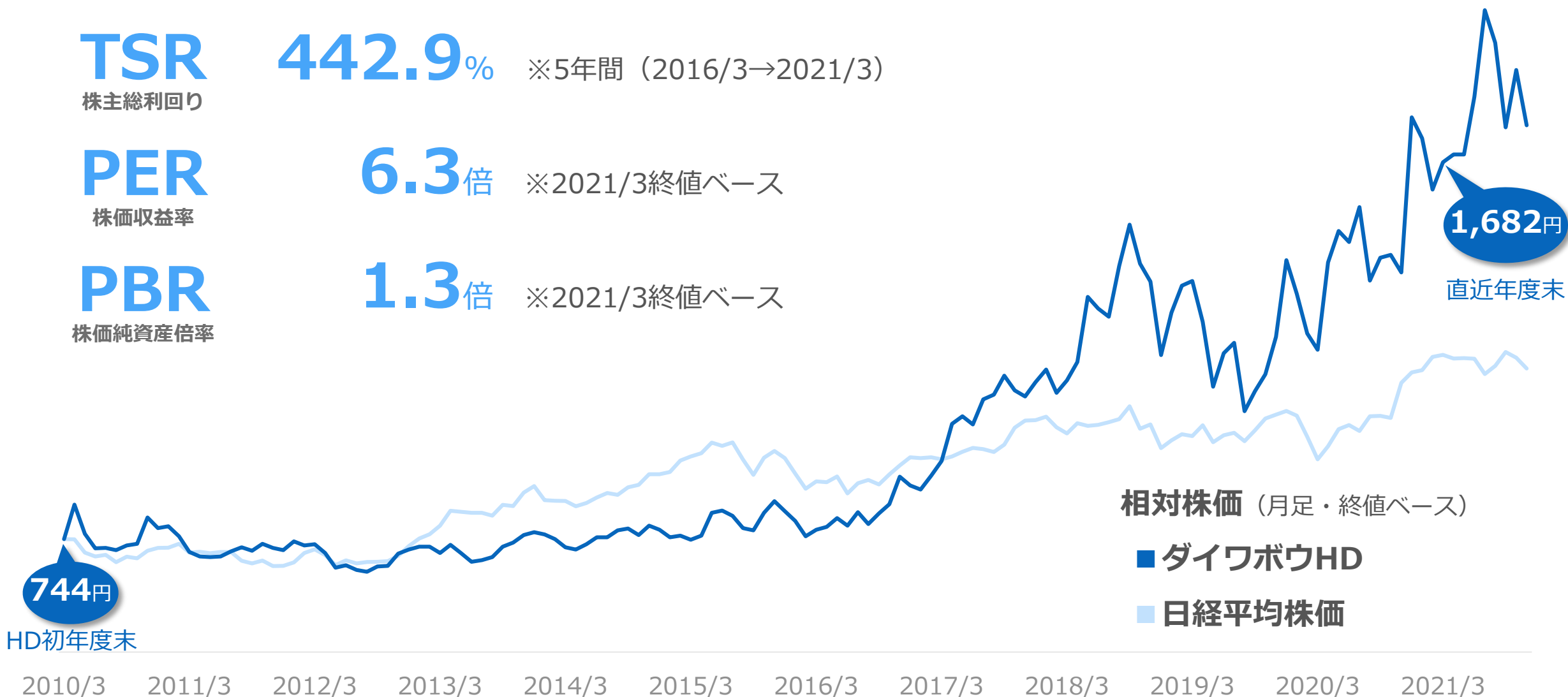
6.3倍

 ※2021/3終値ベース

PBR

株価純資産倍率

1.3倍

 ※2021/3終値ベース

※株価は株式併合 (2017/10/1) ・株式分割 (2021/4/1) を過年度に遡及して表示

基本方針

- 株主還元の充実化を適切に図る
- 既存事業の持続的成長に向けた投資を継続しつつ、新規領域への成長投資を実施
- 一定の手元流動性を確保し、戦略的な商品調達や不測の事態に備える

<キャッシュ配分項目>

配当	既存領域への成長投資	新規領域への成長投資	自己株式取得	手元流動性の確保
<p>1株当たり60円 (中間配当含む) の安定配当を基本方針としてキャッシュ状況にあわせて増配なども検討</p> <p>2022年3月期 配当予想 中間30円+期末30円</p>	<p>既存事業の持続的成長に向けて設備投資・マーケティング・研究開発・人材採用などを行う</p>	<p>市場拡大が見込まれるDX関連領域を中心に新たな事業の柱を育てるべく業務提携やM&Aの検討を開始</p>	<p>市場環境に応じて機動的な自己株式の取得を検討</p> <p>約20億円の自己株式を取得 取得総数 約 104万株 / 1.08% 取得期間 2021/5/14~2021/8/31</p>	<p>ITインフラ流通事業における戦略的な商品調達に伴う資金需要および不測の事態に備えた手元流動性の確保</p>



ダイワボウホールディングス株式会社

証券コード：3107

- 当社はITインフラ流通事業、繊維事業、産業機械事業の3事業がそれぞれの強みを発揮している**連結売上高1兆円規模**の企業グループです
- 売上高の90%以上を占めるITインフラ流通事業の中核を担う**ダイワボウ情報システム（DIS）**は、**IT関連商品を取り扱う国内最大級のディストリビューター（卸売業）**です
国内PCマーケットシェアは約3割に達しています
- **グループ全体でESG推進体制を構築**しており、「守り」と「攻め」の両面から社会課題の解決に貢献してまいります
- 「**株主還元の充実**」を基本方針としており、**継続的・安定的な配当、中間配当の実施、機動的な自己株式の取得**などに取り組んでまいります

当社コーポレートサイトのご紹介

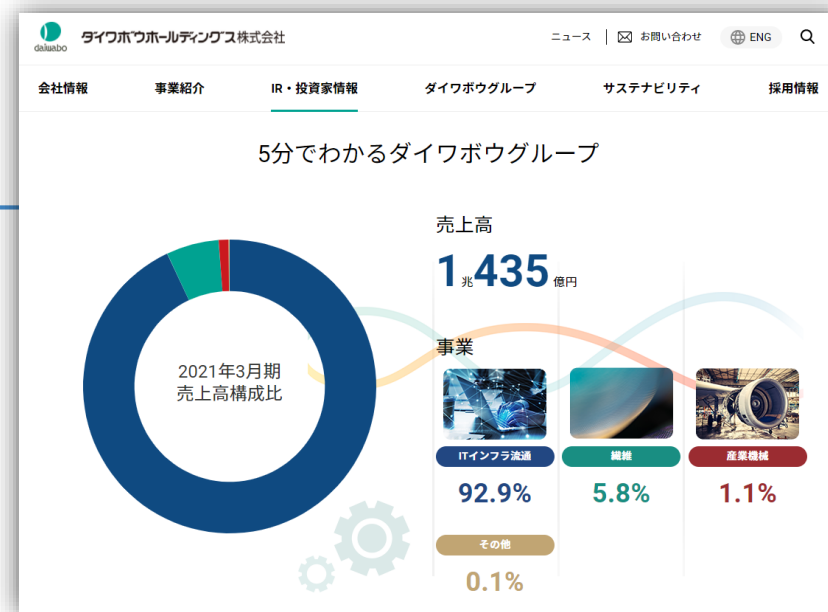


<https://www.daiwabo-holdings.com/>



適時開示情報や事業ニュースをはじめ
事業紹介やIR資料などを発信しています

IR・投資家情報



サステナビリティ

当社コーポレートサイトのご紹介



Corporate Profile



会社情報 > 会社概要



グループ広報誌
DAIWABO HOLDINGS Digest



会社情報 > グループ広報誌



ビジネスレポート
(株主通信)



IR・投資家情報 > IRライブラリ



ダイワボウホールディングス株式会社

- 本資料に記載された業績予想値等の将来に関する記述は、現在入手可能な情報をもとに、当社が現時点で合理的であると判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因により本資料の内容と異なる可能性のあることをご承知おきください。
- 本資料中に記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。